

# グループインタビュー報告書

平成 26 年 11 月

奈良市



# 《 目 次 》

## I. グループインタビューの概要

1. グループインタビューの趣旨.....	1
2. 参加者の決定 .....	1
3. グループインタビューの実施前の準備.....	2
4. グループインタビューの開催日時.....	2
5. グループインタビューの進行.....	2

## II. グループインタビューの結果

1. 観光活性化 .....	3
2. 高齢者福祉 .....	5
3. 都市基盤 .....	7
4. 環境保護 .....	8
5. 子育て .....	9



# I. グループインタビューの概要

## 1. グループインタビューの趣旨

奈良市第4次総合計画後期基本計画策定に当たり、平成26年8月に市民3,000人を対象に実施した「奈良市のまちづくりに関するアンケート」の回答者の中から希望者を対象として、5つの分野ごとに4～6人のグループ単位で、アンケートのみでは把握できない掘り下げた意見を聴取することを目的としてインタビューを行った。

## 2. 参加者の決定

市民アンケート調査に回答する際に、設定した分野（観光活性化、高齢者福祉、都市基盤、環境保護、子育て）別にグループインタビューへの参加希望についても回答をいただいた。希望者が多数となったため、抽選により、参加者を決定した。

参加者の年齢・性別は、以下のとおり。

### ①観光活性化（参加者4名）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳代 男性 | 2. 40歳代 女性 | 3. 60歳代 男性 |
| 4. 80歳代 男性 |            |            |

### ②高齢者福祉（参加者6名）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 40歳代 男性 | 2. 40歳代 女性 | 3. 50歳代 男性 |
| 4. 60歳代 男性 | 5. 60歳代 女性 | 6. 70歳代 女性 |

### ③都市基盤（参加者5名）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 30歳代 男性 | 2. 50歳代 男性 | 3. 60歳代 男性 |
| 4. 60歳代 女性 | 5. 70歳代 男性 |            |

### ④環境保護（参加者6名）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 40歳代 女性 | 2. 50歳代 男性 | 3. 60歳代 男性 |
| 4. 60歳代 男性 | 5. 60歳代 女性 | 6. 70歳代 男性 |

### ⑤子育て（参加者4名）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 30歳代 男性 | 2. 40歳代 女性 | 3. 60歳代 男性 |
| 4. 50歳代 女性 |            |            |

### 3.グループインタビューの実施前の準備

設定した5つの分野別にインタビュー調査項目を検討し、参加者には、関連する資料を提供するとともに、参加者の属性や志向を把握するために「事前アンケート」を送付し、当日持参してもらうようにした。

また、グループインタビュー終了後には、「事後アンケート」を実施し、感想や追加の提案などについても把握している。

### 4.グループインタビューの開催日時

5つの分野別に以下の日程で開催した。

(1日目)

- |        |               |             |       |
|--------|---------------|-------------|-------|
| ①観光活性化 | 平成26年9月27日(土) | 13:00~15:00 | 参加者4名 |
| ②高齢者福祉 | 平成26年9月27日(土) | 15:30~17:30 | 参加者6名 |

(2日目)

- |       |               |             |       |
|-------|---------------|-------------|-------|
| ③都市基盤 | 平成26年9月28日(日) | 10:00~12:00 | 参加者5名 |
| ④環境保護 | 平成26年9月28日(日) | 13:00~15:00 | 参加者6名 |

(3日目)

- |      |               |             |       |
|------|---------------|-------------|-------|
| ⑤子育て | 平成26年10月4日(土) | 10:00~12:00 | 参加者4名 |
|------|---------------|-------------|-------|

### 5.グループインタビューの進行

いずれのグループも概ね以下のような時間配分で進行した。

#### ■プログラム(2時間の時間配分の目安)

開会・あいさつ	5分
進め方の説明	5分
自己紹介	5分
インタビュー	90分
まとめ	10分
閉会	5分

## II. グループインタビューの結果

以下では、5つのグループインタビューの結果（事後アンケートの内容も含む）をふまえた課題や改善点について整理した。

### 1. 観光活性化

#### (1) 奈良市の観光の課題

(観光資源)

- ・奈良市に移り住んできたのは、若草山、鹿など、のどかでのんびりしているところが良いと思ったからであるが、逆に言えば、ほかには特筆すべきところやものがない。何か特色を出すことはできないか。
- ・修学旅行で東大寺の大仏を見に来たが、何十年経っても、その周辺は変わっていない。それが奈良の良さなのか、もう少し現状に合わせて便利を良くするのか検討すべき。

(情報発信)

- ・社寺などの舞台装置が揃っているため、それを目当てに観光客が来てくれるので、観光に関わる関係者が努力しない。そういったことが背景にあって、情報発信の方法が他府県・他都市より下手である。観光事業者のサービスのレベルも他よりも低く感じる。

(まちのにぎわい)

- ・子どもの頃は、映画館が街中にあり、遊園地もあったので、市内に楽しめるスポットがあったが、最近はそうしたスポットがなく、大学生のような若い人が観光するには楽しくないと思う。また、駅前なども夕方になると薄暗い印象である。人が来てにぎわっている地域は、照明を明るくしている。

(交通)

- ・「奈良市に行くとき車が混んでいるから大変だ」、「車で行こうとするが、駐車場がないので困る」という人も多い。観光を活性化するには、交通面での配慮が必要になる。

#### (2) 奈良市の観光活性化に向けた提案

(大和茶)

- ・観光パンフレットにはいたる所でお茶が使われており、奈良県の特産が大和茶であると紹介されている。お隣の京都府内で、お茶を知るイベントに1日で5,000人が訪れた例もあるので、奈良市でも同様の取り組みをすると良い。

(もてなし)

- ・奈良市民、中でも観光地で商売している店舗・飲食店の方などは、観光客に対してきちんとおもてなしをする必要がある。そのための教育・研修も重要である。

(魅力ある観光コース)

- ・旅行に行くときには、地元のもの食べて、地元のものを買って1日を過ごす。奈良の場合は、どこに行ったらいいかわからない。また、パンフレットで紹介されているコースは、若者の視点から見れば興味ないと思われるものもある。「これは」というコースがあれば、奈良で1日費やしてもらえらるはずである。

(観光地としての方向性)

- ・優れた観光地は、建物や特産品の魅力とそこでもてなす人という3つの要素がうまくかみ合い、一つの方向性を向いている。奈良市はそれがバラバラなので、奈良市も3つの要素がかみ合うように取り組んでほしい。

(交通)

- ・将来のこととなるが、リニア新幹線の奈良駅設置を望んでいる。
- ・観光にはバスを利用することもできるが不便で、バス停もわかりにくい。観光客の目線になってこうした点を改善することは、それほどお金をかけずにできることである。

## 2. 高齢者福祉

### (1) 奈良市における課題

#### (老人保健施設)

- ・老人保健施設はたくさんあるが「待ち」が圧倒的に多い。一人の入所者に広いスペースを使ってもらい、個人個人を大切にしようという取り組みを進めている一方で、「待ち」の状態ですら4人部屋にも入れない人もいます。介護している家族のことを考えると、一人に広いスペースを使ってもらうのではなく、全てを4人部屋にして、「待ち」を減らし、まず受け入れるということが大切だと思う。

#### (地域コミュニティ)

- ・地域協力委員が、一か月に一度、自治会内の一人暮らしの方を訪問していたが自治会内の身近な人だと、家のこと等を相談しにくいということであったため、訪問することをやめた。その一方で、地域から離れた病院のスタッフが行くと案外歓迎されたりする。このように、地域内での距離感の取り方が難しい。

#### (ボランティア活動)

- ・ボランティア活動をするうえで、当てにしているのは年間3万円が上限の助成金。ボランティアのスキルを高めるために研修も受けたいが、それにはお金もかかる。ボランティア参加者に負担してもらうのもどうかと思うので、助成金を増やせないか。

#### (住宅改修)

- ・20万円まで助成される住宅改修のような活用可能な制度を知らない人が多い。

### (2) 奈良市の高齢者福祉に対する提案

#### (介護離職)

- ・介護している人（主に40代、50代）の中で、仕事を辞めざるを得ない状態にある人の数を把握する必要がある。いったん仕事を辞めてしまうと、介護が終わっても再就職できないという状況に陥ることがある。

#### (社会福祉制度)

- ・一般の市民の多くは、地域包括支援センターがあること自体を知らないと思う。市の側から、利用するニーズを持っている市民に対して、電話をかけたたり、自治会を通じて利用を促すことなどが必要である。

#### (ボランティアの活用)

- ・ボランティア活動をしたことに対するメリットをポイント制度によって提供してはどうか。そうすることで、もっと多くの方に活動してもらえ、また活動のモチベーションも上がる。
- ・介護保険で日常の掃除とかはできるが、衣替えや部屋の模様替え等に対応できない。そうしたことに対応してくれるボランティア団体もある。主婦が2人一組で、交通費のみで来て、2時間できれいしてくれる。奈良市にはそうした団体がないと思う。

(ゴミ出しのサポート)

- ・以前、居住していた大阪市では、高齢者のゴミ出しを清掃担当者が手伝っていた。奈良市内で同じことができないか。

### **3. 都市基盤**

#### **(1) 奈良市の都市基盤に関する課題**

(リニア新幹線)

- ・京都には観光客や外国人がたくさん来ているが、奈良までは来ないというのは、新幹線があるかないかの違いが大きい。したがって、奈良市内にリニア新幹線の駅ができれば、街は大きく変わると思う。

(道路)

- ・西の京の道が狭い。奈良県立病院が移転してくると救急車も走行することになるが、どこの道を通るのか不安である。

(バス)

- ・バスの本数が少なく、最終バスも22時台で終了する。もう少し便利にならないと使いづらい。その結果、ますます乗ることがなくなり、さらに不便になるという悪循環である。

(公園)

- ・市内には奈良公園があるため、地域で子どもが遊ぶような公園の整備に力を入れてこなかったように思う。地域の小規模な公園整備が課題である。

(空き家)

- ・空き家がものすごく増えていることが心配である。

#### **(2) 奈良市の都市基盤に関する提案**

(公園の自主管理)

- ・市職員だけでは、公園の整備や見回りは不十分だと思うので、ふだんの維持や管理は自治会で対応すればよい。ただし、素人ではわからない遊具の老朽化などの判断は市職員にお願いしたい。

## 4. 環境保護

### (1) 奈良市の環境保護に関する課題

(景観保全)

- ・奈良の本質的な魅力を考えると、歴史の一言に集約できる。形式上、高さ制限や看板の色制限があるが、そこさえ守っていれば、他は何をしてもいいということになりがちであり、規制の運用について課題がある。
- ・ならまちの近くに住んでいるが、マンションが増えてきており、ならまちの景観やただずまいを守ることができるのかが心配である。

### (2) 奈良市の環境保護に対する提案

(景観保全)

- ・ならまちの景観を保全するために、ならまちの建物には、「瓦屋根と格子を残せば補助金を出す」といった施策を展開してはどうか。

(住民による公有地の管理)

- ・公有地の草刈りをしてほしいという依頼が自治会にあるが、住民も高齢化しているので対応できないこともある。そうした公有地を希望者に貸し出して管理してもらうことで、景観保護や管理コスト削減が可能になるのではないか。

(環境保全への取組)

- ・学校の授業の一環として環境教育をするべき。温暖化は生活を壊すということを子ども頃から教育しないと間に合わないと思う。道徳的な問題なので、難しさはあると思うが、小学生ぐらいから環境教育をすることが大切。

## 5. 子育て

### (1) 奈良市の子育てに関する課題

(公園での子供に関する苦情)

- ・子どもを公園で遊ばせたら、「うるさい」という苦情が近所の住民からあった。めったに子どもが遊ばないので、たまに遊ぶと苦情が出るようだが、それでは、子どもを自由に外で遊ばせることができない。地域の住民に理解してもらうことが課題である。

(夏の屋内での遊び場の確保)

- ・夏の時期は熱中症の心配があるが、奈良市内には室内遊技場がない。わざわざ他の市の施設に行っている。市内で屋内での遊び場を確保してほしい。

(延長保育が短い)

- ・延長保育は17時までなので、そもそもフルタイムで働けない。共働きをするには、家族や知り合いに助けしてもらわないと難しい。そういう状況自体が、共働きと子育ての両立を難しくしている。

(ホームページ上の情報がわかりにくい)

- ・配られた冊子(「なら子育て情報ブック」)はわかりやすくできているが、奈良市のホームページ上での情報提供はわかりにくい。

### (2) 奈良市の子育てに対する提案

(高齢者の活用)

- ・高齢者が、近隣の人々の子育てを手伝えるようなことがあるのではないか、行政がそのような人を活用して、昔の遊びを教えるなどができるのではないかと思う。

(幼稚園の空き教室の活用)

- ・幼稚園の空き教室を開放して、お年寄りがくつろげる場所にしておいて、幼稚園児は授業が終わったら、そこに遊びに来ると良い。園庭もあり、遊ぶ設備が揃っている幼稚園をお年寄りや園児の交流の場として活用できると良い。

(空き家の活用)

- ・まず市が空き家の調査を行う。その上で、少し町から離れたところで環境のよいところの空き家の子育て世帯に安く斡旋して住んでもらうようにできないか。